

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	一般事務	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	------	-----------

事業名	27	公務災害補償費	区分	コード	名称
基本施策	99	対象外	会計	01	一般会計
施策			款	02	総務費
			項	01	総務管理費
			目	01	一般管理費
			細目	104	人事管理経費
			細々目	02	公務災害補償費
基本計画該当員			コード	010300	
行革大綱の重点事項番号			名称	総務部職員課	
			評価者氏名	山下 章光	
			連絡先		22 - 9605 (内線) 2340

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	公務災害対象事務補助員等	成果(どうなるのか)	労働災害基金の認定対象外となるケースの災害補償を行うことで安心して就労できる環境を整備し、事務執行を円滑にすることにより市民サービスの向上を図ることができる。
	(対象件数)			
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	地方公務員災害補償法・伊賀市議会の議員その他非常勤の職員公務災害補償等に関する条例及び施行規則等
本年度事業内容	療養補償費 1件(1名)	状況変化等		公務災害の認定については、市の判断の基準として地方公務員災害補償基金に認定診断を委ねることとしている。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
公務災害対応	-	目標	目標	-	
		実績	実績	1件	随時
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

運営体制

1 運営主体	人
委託先	
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	千円

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
			目標	目標		
			実績	実績		
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性		
有効性		
達成度	4	法令の基準に基づき補償を適切に実施できたと考えられる。
効率性	4	前年度との比較では、件数、金額とも減少しており、結果は申し分ないものと考えられる。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
	現状維持	発生件数0件が理想であるが、公務災害発生時には迅速に対応するとともに、安全衛生週間などの機会に、職場の安全対策の徹底を行なう。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)												
委託	工事	災害補償費			432	災害補償費			25	災害補償費			2,100	災害補償費			2,100
進捗率(%)		事業費計(A)			432	事業費計(A)			25	事業費計(A)			2,100	事業費計(A)			2,100
事業投入人員		人件費(B)	0.1	人	720												
フルコスト(A)+(B)					1,152				745				2,820				2,820

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	432	25	2,100	2,100
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	432	25	2,100	2,100
計	432	25	2,100	2,100	
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				